

# 一般質問通告順序表

No.1 (平成 29 年 12 月 7 日)

番号	質問者	質問の相手	質問の要旨
1	中村 敏彦	市長	<p><b>1. 市長選挙の結果と公約について</b>            (1) 4 期目の選挙結果に対する率直な見解を伺う。            (2) 第 2 次総合計画と公約の関連性について伺う。</p> <p><b>2. 国民健康保険について</b>            (1) 国保会計の現状について滞納状況、資格者証や短期保険証の発行状況について伺う。            (2) 新制度移行後の保険税の見通しはどのようなか伺う。</p> <p><b>3. 原発政策について</b>            (1) 40 年廃炉についての市長の見解を伺う。            (2) 核のごみ最終処分場マップ公表について</p>
2	濱田 尚	市長 教育長	<p><b>1. 子育て支援について</b>            多子世帯への負担軽減や切れ目のない子育て支援にはスピード感を持って取り組み、子育てしやすい環境づくりを早急に構築すべきではないか。            (1) 幼稚園や保育所の保育料無料化や高校生までの医療費無料化について、財源確保や実現へのロードマップについて伺う。</p> <p><b>2. 消防行政について</b>            人口減少が進む状況の中で、消防の広域化は重要な課題と認識するが、議論や検討の状況について伺う。</p> <p><b>3. 防災対策について</b>            (1) 防災行動を時系列に整理した計画であるタイムライン（防災行動計画）の必要性を強く感じるが、取り組みはどうか伺う。            (2) 河川の氾濫などに備えた危険水位などの基準について伺う。</p> <p><b>4. 南九州西回り自動車道について</b>            二つのインターを有する本市、全線開通が実現すると物流や定住促進の拡大が予想される。そのことを想定し、積極的に政策に反映すべきでないか。            (1) 早急な全線開通を目指し、県や沿線自治体が取り組んでいるが、進捗の状況や本市の具体的な政策への取り組みについて伺う。            (2) 連携中枢都市圏構想など考えると、ハーフインターチェンジの美山インターをフルインターチェンジにし、地域間の交流促進や利便性の向上に取り組むべきと考えるがどうか。            (3) 「道の駅」の設置の検討はどのような状況か伺う。</p> <p><b>5. 児童・生徒の SNS との付き合い方について</b>            スマートフォンなどの普及で利便性は向上しているが、一方、子どもたちのネット依存などで様々な影響が懸念されている。            (1) 児童・生徒のスマートフォンや携帯電話の普及率と利用の状況について伺う。            (2) ネット依存やトラブルの未然防止のための対策はどうか伺う。</p>

3	中里 純人	市 長	<p><b>1. 市長の政治姿勢について</b></p> <p>(1) 市長選挙結果についての見解を伺う。  (2) マニフェストについて伺う。  ①子育て支援と人口減少対策について  ②農林水産商工業の振興と企業誘致の促進について  ③原子力に頼らない自然エネルギーの拡大について</p> <p><b>2. 市道島平・野元線の改良について</b></p> <p>平成 25 年の一般質問の答弁は「照島地区のゾーン 30 設定後検討する」であったが、その後どのような計画になっているのか伺う。</p>
4	田中 和矢	市 長	<p><b>1. 公費による街路灯設置について</b></p> <p>通勤・通学時に安心して通れる街づくりのため、市内のいたる所で街路灯の設置を希望する市民の声が多い。  各地域の暗くて危険な道を無くすため、現在、数多く催されているイベントの実施費用の 1 割を減額することによって、市負担で街路灯を設置できないか伺う。</p> <p><b>2. 原発に関する考え方について</b></p> <p>(1) 稼働限度 40 年から更に 20 年延長する話が新聞等で持ち上がっているが、市長の今後の考え方を伺う。  (2) 原発稼働により使用済み核燃料は増える一方である。その貯蔵施設の候補地に手を挙げる等の考え方を伺う。</p>

# 一般質問通告順序表

No.2 (平成 29 年 12 月 8 日)

番号	質問者	質問の相手	質問の要旨
1	江口 祥子	市長 教育長	<p><b>1. 高齢者と子どもたちのふれあい活動について</b></p> <p>(1) 本市の高齢者と子どもたちのふれあい活動の現状について伺う。</p> <p>(2) 高齢者が子どもたちの成長を促す手助けとなる祖父母手帳を作成し配布する考えはないか。また、父親の育児参加を進めるために父子手帳を作成し配布する考えはないか伺う。</p> <p>(3) 幼老複合施設を官民一体で設置する考えはないか伺う。</p> <p><b>2. 新生児に対する助成制度について</b></p> <p>新生児聴覚検査費の助成制度を設ける考えはないか伺う。</p>
2	吉留 良三	市長	<p><b>1. 高齢者の移動手段の確保対策等について</b></p> <p>(1) 利便性を高めるための公共交通の確保に対する現状と課題について伺う。</p> <p>(2) 買い物弱者対策については、複合的な対策が必要であると考えるがどうか。</p> <p><b>2. 本市におけるアベノミクスの検証について</b></p> <p>(1) 本市への波及効果について伺う。</p> <p>(2) 国に対して公平性と地方重視の税制への転換を求めるべきと考えるがどうか。</p> <p><b>3. 若者の定住できる魅力あるまちづくりについて</b></p> <p>若者が安心して希望を持って暮らすためのまちづくりをどのように考えるか伺う。</p>
3	松崎 幹夫	市長	<p><b>1. 人口減少及び少子化対策について</b></p> <p>(1) 本市の人口減少の現状及び少子化対策の現状について伺う。</p> <p>(2) 子育て支援策について伺う。</p> <p>(3) 雇用促進を拡大するための企業誘致の取り組みについて伺う。</p> <p><b>2. 空き家対策について</b></p> <p>(1) 空き家バンク制度の取り組み状況と成果について伺う。</p> <p>(2) 空き家利用促進補助金の活用状況について伺う。</p> <p><b>3. ころばん体操について</b></p> <p>(1) 参加公民館数及び登録者数の現状と普及に向けた地域への加入促進の取り組みについて伺う。</p> <p>(2) この事業を継続することで医療費に影響があるか伺う。</p> <p><b>4. 給油困難地域支援について</b></p> <p>(1) 給油所（ガソリンスタンド）が無い地域に対しての市の対応について伺う。</p> <p>(2) まちづくり協議会と連携した給油所設置の取り組みができないか伺う。</p>

4	原口 政敏	市長 教育長	<p><b>1. 戸崎漁港の整備について</b>  戸崎漁港は浮き桟橋も無く、漁業者が水揚げに苦勞されている状況である。整備については、10年計画とされているが、早急にできないか。</p> <p><b>2. 大里川の拡幅について</b>  今年度で、ほ場整備も完了するが、どのような計画で何年かかる予定か。また、地域住民に説明会の計画は無いのか。</p> <p><b>3. 九州電力の交付金について</b>  串木野地域は交付金が支給されているが、市来地域も働きかけるべきではないか。</p> <p><b>4. 不登校対策について</b>  報道によれば6割が学校の責任とのことであるが、本市はどのような対応をとっているか。</p> <p><b>5. 平成30年度予算について</b>  4期目の市政運営にあたり、予算編成では何を重視される考えか伺う。</p> <p><b>6. (株)いちき串木野電力について</b>  市が資本金を51%出資しているが、現在の加入状況と経営状況について伺う。</p>
---	-------	-----------	---

# 一般質問通告順序表

No.3 (平成 29 年 12 月 11 日)

番号	質問者	質問の相手	質問の要旨
1	西別府 治 市長	市長	<p><b>1. 市道の管理について</b>            (1) 高齢化や人口減少が進む中、地域で行う市道等の住環境整備の現状について伺う。            (2) 道路特別事業等を活用した路肩や法面整備について伺う。</p> <p><b>2. 鹿児島空港への交通アクセスについて</b>            空港連絡バス「日置・伊集院線」の活用について            ①鹿児島交通の本市の空港連絡バス廃止時期と最終時の負担額について伺う。            ②本市から「湯之元・伊集院～鹿児島空港」線へのアクセスについて伺う。            ③公共交通マップ総合時刻表の有効活用について伺う。</p> <p><b>3. ふるさと納税における地域経済の好循環と自治体PRについて</b>            (1) 返礼品割合改定の影響や特設サイト開設効果について伺う。            (2) 民間が実施した「ふるさと納税に関する調査」で「ふるさと納税を知っているが未経験」との回答が約 77%であったが、本市として未経験者を獲得するための対策や自治体PRを行うべきではないか伺う。            (3) ふるさと納税の趣旨である「地域間の税の格差」を是正するためのパートナー企業等との連携について伺う。</p>
2	福田 清宏	市長 教育長	<p><b>1. 沿岸漁業の振興施策について</b>            (1) 市内、四漁業協同組合前浜の藻場の状況調査や藻場の回復・造成のために、漁協・水産高校・鹿児島県水産技術開発センター等の3者連携の取り組みを推進する施策について、どのように検討されたか、伺う。            (2) 操業支援の施策について、伺う。            ①魚群探知機やGPS等の購入に対する補助金について、どのように検討されたか、伺う。            ②種子島周辺漁業対策事業を活用した魚群探知機やGPS等の購入について、どのように検討されたか、伺う。</p> <p><b>2. 自治公民館建設整備事業補助金について</b>            住民の高齢化や世帯減少等を考慮して、補助対象額50万円未満の増築、改築、修繕等に、まちづくり計画事業補助金(ハード)が活用できるように、検討されたか、伺う。</p> <p><b>3. コミュニティバスの運行について</b>            九州電力株式会社から譲渡される福祉車両を活用するとのことであるが、運行に係る要項は、つくられたか、伺う。</p> <p><b>4. 学校給食センターの建設地変更について</b>            (1) 今日に至る経緯について、伺う。            (2) 今後の対策について、伺う。</p>

3	宇都 耕平	市 長	<p><b>1. コミュニティバスの運行計画について</b> 進捗状況について伺う。</p> <p><b>2. 道路環境整備について</b></p> <p>(1) 市来地域と串木野地域の道路整備の現状及び整備割合について伺う。</p> <p>(2) 市道の側溝で蓋が被せてない箇所がある。整備する必要があるのではないか。</p> <p>(3) 道路脇における街路樹の管理について伺う。</p>
4	東 育代	市 長	<p><b>1. 人口減少対策について</b> 移住促進等を目的としたふるさとワーキングホリデー制度の取り組みを進める考えはないか伺う。</p> <p><b>2. 資源ごみ・小型家電等リサイクルについて</b></p> <p>(1) 資源ごみの回収について</p> <p>(2) 学校や地域等の廃品回収事業について</p> <p>(3) 民間のごみ回収ボックスについて</p> <p>(4) 小型家電リサイクルボックスについて</p>